



# Cisco IPICS の CLI ツールおよびサービス コマンドの使用法

---

この章では、Cisco IPICS で使用できるコマンドライン インターフェイス (CLI) ツールとサービス コマンドについて説明します。CLI ツールはシステムの問題を修正するときに使用し、サービス コマンドは Cisco IPICS ネットワーク プロセスを起動、停止、再起動するときに使用します。

この章は、次の項で構成されています。

- [CLI ベースのツールの概要 \(P.6-2\)](#)
- [CLI ベースのツールの使用法 \(P.6-3\)](#)
- [サービス コマンドを使用した Cisco IPICS ネットワーク プロセスの設定と確認 \(P.6-11\)](#)

## CLI ベースのツールの概要

Cisco IPICS にバンドルされている CLI ベースのツールを使用すると、サーバの IP アドレスの変更、ユーザのサブセットに対するパスワード リセットの実行、およびロックされたユーザの有効化といった機能の処理を簡素化できます。

表 6-1 に、Cisco IPICS の CLI ベースのツールを示します。

表 6-1 Cisco IPICS の CLI ベースのツール

ツール名	説明
<b>enableuser</b>	このツールは、無効になったユーザの有効化、またはロックされたユーザのロック解除を行います。 <b>enableuser</b> ツールについては、P.6-3 の「 <a href="#">enableuser ツールを使用したロック済みユーザのロック解除または無効なユーザの有効化</a> 」を参照してください。
<b>modify_ip</b>	このツールは、サーバの IP アドレスを変更します。サーバの IP アドレスを変更するときは、必ず <b>modify_ip</b> ツールを使用することをお勧めします。このツールを使用しないでサーバの IP アドレスを変更すると、/etc/hosts ファイルが新しい IP アドレスで更新されない場合があります。その結果、ライセンスや接続の問題が発生する場合があります。 <b>modify_ip</b> ツールについては、P.6-4 の「 <a href="#">modify_ip ツールを使用したサーバの IP アドレスの変更</a> 」を参照してください。
<b>ntpsetup</b>	このツールでは、サーバの NTP の設定、ntpd サービスと broadcastclient オプションの両方の有効化 / 無効化、NTP ステータスの確認、および /var/log/ntpsetup.log ファイルに記録された情報を表示することによる NTP アクティビティの確認を行うことができます。 <b>ntpsetup</b> ツールについては、P.6-7 の「 <a href="#">ntpsetup ツールでの Cisco IPICS サーバの NTP の設定</a> 」を参照してください。
<b>reset_pw</b>	このツールは、IPICS パスワードのリセット、ipicsadmin パスワードと informix パスワードの作成、およびルート パスワードの変更を行います。 <b>reset_pw</b> ツールについては、P.6-8 の「 <a href="#">reset_pw ツールを使用したパスワードのリセット、変更、または作成</a> 」を参照してください。

## CLI ベースのツールの使用法

この項では、CLI ベースのツールの使用法について説明します。次のトピックを扱います。

- [enableuser](#) ツールを使用したロック済みユーザのロック解除または無効なユーザの有効化 (P.6-3)
- [modify\\_ip](#) ツールを使用したサーバの IP アドレスの変更 (P.6-4)
- [ntpsetup](#) ツールでの Cisco IPICS サーバの NTP の設定 (P.6-7)
- [reset\\_pw](#) ツールを使用したパスワードのリセット、変更、または作成 (P.6-8)

### enableuser ツールを使用したロック済みユーザのロック解除または無効なユーザの有効化

ユーザは、次の理由によりロックされた、または無効になった可能性があります。

- 無効なログインの試行回数が最大試行回数を超えたため、Cisco IPICS がユーザを自動的にロックした。詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Performing Cisco IPICS System Administrator Tasks」の章を参照してください。
- Operator 特権または All 特権を持つユーザが、ユーザを手動でロックした、または無効にした。ユーザのロックアウトまたは無効化の詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Performing Cisco IPICS Operator Tasks」の章を参照してください。

ユーザが無効になった場合、Cisco IPICS は、すべてのエンドポイント デバイスがシステムにログインできないようにします。PMC、ダイヤルイン、および Administration Console など、既存のログインセッションはすべて自動的に終了します。

ユーザがロックされた場合、Cisco IPICS は、新しいログインをすべて禁止します。ただし、既存のログインは、ユーザがシステムからログアウトするまで引き続き動作します。

ユーザのロックを解除する、または有効にするには、次の手順を実行します。

### 手順

---

**ステップ 1** ルート ユーザ ID を使用して Cisco IPICS サーバにログインします。

**ステップ 2** informix ユーザとしてログインするには、次のコマンドを入力します。

```
[root]# su - informix
```

**ステップ 3** ユーザのロック解除する、または有効にするには、次のコマンドを入力します。

```
[informix]# enableuser <user-id>
```

表示の意味は次のとおりです。

<user-id> は、ロックを解除する、または有効にするユーザ ID を表します。



---

**(注)** ユーザ ID はすべて小文字で入力してください。

---

## modify\_ip ツールを使用したサーバの IP アドレスの変更

サーバの IP アドレスを変更するには、次の手順を実行します。

### 手順

---

**ステップ 1** ルート ユーザ ID を使用して Cisco IPICS サーバにログインします。

**ステップ 2** サーバの IP アドレスを変更するには、次のコマンドを入力します。

```
[root]# modify_ip
```

次のテキストが表示されます。

```
Use this tool to facilitate changing the Cisco IPICS server network
settings, such as IP address or host name.
```

```
To change the current settings, enter the new values below. To accept
the existing values without making any changes, press Enter.
```

```
ip address for interface eth0[x.x.x.x]:
```

**ステップ 3** サーバの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。



**(注)** このフィールドまたは以降の手順に記載されたフィールドに既存の値が割り当てられている場合は、角カッコの中に現在の値が表示されます。既存の値を保持するには、**Enter** キーを押します。

次のテキストが表示されます。

```
Subnet mask for interface eth0 []:
```

**ステップ 4** IP アドレスのサブネット マスクを入力し、**Enter** キーを押します。

**ステップ 5** 次のテキストが表示されます。

```
default gateway []:
```

**ステップ 6** ネットワークのデフォルト ゲートウェイを入力し、**Enter** キーを押します。

ネットワーク接続を確保するために設定するその他のフィールドが表示されません。

**ステップ 7** 表示されたコマンドラインで、ホスト名、ドメイン名、プライマリ DNS サーバ、および（オプションの）セカンダリ DNS サーバを入力します。各エントリの最後に **Enter** キーを押します。



---

**(注)** ホスト名を使用して Cisco IPICS にアクセスする場合は、DNS サーバも確実に更新してください。

---

次のテキストが表示されます。

```
Enter Y to confirm the new settings [No]:
```

**ステップ 8** Y キーを押します。次に、**Enter** キーを押してエントリを確定します。



---

**(注)** **No** を押すか、またはテキストを入力しないで **Enter** キーを押すと、設定手順の [ステップ 3](#) に戻ります。

---

次のテキストが表示されます。

```
The tool is now ready to modify your system configuration.
After changing the configuration files, the tool will initiate a
system shutdown and restart the server.
If you are using a network connection, your session will be
interrupted and you will need to
reconnect by using the new settings:
    IP Address: 10.1.1.1      Hostname: myhostname
```

```
Enter Y to proceed with these values or N to cancel [N]:
```

**ステップ 9** Y を入力します。次に、**Enter** キーを押して選択を確定し、サーバをリブートします。

サーバがリブートすると、ログイン画面に戻ります。

---

## ntpsetup ツールでの Cisco IPICS サーバの NTP の設定

この項では、サーバの NTP を設定する方法について説明し、P.6-8 の「ntpsetup コマンドの例」に例を示します。

サーバの NTP を設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** ルート ユーザ ID を使用して Cisco IPICS サーバにログインします。

**ステップ 2** ルートから、次のコマンドを入力します。

```
[root]# ntpsetup {[<ntpserver1> [... | <ntpservernn>]] [-b [enable | disable]]  
[-s [enable | disable]] [-c ] [-h ]}
```

表示の意味は次のとおりです。

<ntpserver1> ~ <ntpservernn> は、1 台以上の NTP サーバの IP アドレスまたは DNS 名を表します。NTP が有効の場合、Cisco IPICS は最初にリストされている NTP サーバの使用を試みます。その NTP サーバから Cisco IPICS が NTP ブロードキャスト パケットを受信しなかった場合、Cisco IPICS は次にリストされているサーバの使用を試みます。この試行は、有効な NTP サーバが見つかるまで続けられます。

**-b** は、ブロードキャスト オプションを有効または無効にします。ブロードキャスト オプションが有効の場合、ブロードキャスト ドメイン内の他のデバイスが Cisco IPICS サーバを NTP サーバとして使用できます。

**-s** は、NTP を有効または無効にします。NTP を有効にする場合は、少なくとも 1 台の NTP サーバを設定する必要があります。

**-c** は、サーバの現在の NTP ステータスを表示します。

**-h** は、このコマンドのヘルプ画面を表示します。



(注) 既存の NTP サーバを削除するには、**ntpsetup** コマンドを入力して、保持するサーバを指定し、削除するサーバを除外します。NTP サーバの追加または削除の例については、P.6-8 の「**ntpsetup コマンドの例**」を参照してください。

## ntpsetup コマンドの例

次の例は、**ntpsetup** コマンドの使用法を示しています。

- 次のコマンドは、NTP を有効にして、ntp1.server.org をデフォルトの NTP サーバとして指定し、10.10.10.1 と ntp2.server.org をバックアップ NTP サーバとして指定します。

```
[root]# ntpsetup -s enable ntp1.server.org 10.10.10.1  
ntp2.server.org
```

- 次のコマンドは、デフォルトの NTP サーバである ntp1.server.org を削除し、10.10.10.1 をデフォルトの NTP サーバとして指定し、ntp2.server.org をバックアップ NTP サーバとして保持します。

```
[root]# ntpsetup 10.10.10.1 ntp2.server.org
```

- 次のコマンドは、ntp3.server.org をバックアップ NTP サーバとして追加します。

```
[root]# ntpsetup 10.10.10.1 ntp2.server.org ntp3.server.org
```

- 次のコマンドは、Cisco IPICS サーバがブロードキャスト ドメイン内の他のデバイスの NTP サーバとして使用されることを許可します。

```
[root]# ntpsetup -b enable
```

## reset\_pw ツールを使用したパスワードのリセット、変更、または作成

IPICS パスワードをリセットする場合、ipicsadmin または informix パスワードを作成する場合、またはルート パスワードを変更する場合は、次の手順を実行します。



**ステップ 1** ルート ユーザ ID を使用して Cisco IPICS サーバにログインします。

**ステップ 2** パスワードをリセット、変更、または作成するには、次のコマンドを入力します。

```
[root]# reset_pw
```

次のテキストが表示されます。

```
Select the user name for password reset:
```

- 1) ipics
- 2) ipicsadmin
- 3) informix
- 4) root
- 5) quit

**ステップ 3** パスワードをリセット、作成、または変更するには、次のいずれかのアクションを実行します。

- IPICS ユーザのパスワードをリセットするには、**1** を入力します。
- ipicsadmin ユーザのパスワードを作成するには、**2** を入力します。
- informix ユーザのパスワードを作成するには、**3** を入力します。
- ルート ユーザのパスワードを変更するには、**4** を入力します。

ユーザの新しいパスワードを入力するように求められます。

**ステップ 4** ユーザの新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。



**(注)** セキュリティ性の高いパスワードにするために、次の要素を含む 8 文字以上のパスワードを作成する必要があります。

- 1 文字以上の英小文字
- 1 文字以上の英大文字
- 1 文字以上の数字
- 1 文字以上の特殊文字 (次のいずれか)

```
@ [ ] ^ _ ` ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; { < | = } > ~ ?
```

新しいパスワードを再度入力するように求められます。

**ステップ 5** ipicsadmin または informix ユーザの新しいパスワードを再度入力し、**Enter** キーを押します。

Cisco IPICS は、ipicsadmin または informix ユーザのパスワードを変更します。新しいパスワードをテストするには、ipicsadmin または informix ユーザ ID を使用してサーバにログインします。

---

ipicsadmin および informix ユーザの詳細については、このマニュアルの「Glossary」の章を参照してください。

## サービス コマンドを使用した Cisco IPICS ネットワーク プロセスの設定と確認

サービス コマンドは、Tomcat サービスやライセンス マネージャなどのネットワーク プロセスを起動、停止、または再起動するときに使用します。また、サービス コマンドを使用して、ネットワーク プロセスのステータスを確認することもできます。

ネットワーク プロセスの詳細と、この項に記載されているコマンドの詳細については、[P.2-1](#) の「Cisco IPICS ネットワーク プロセスのトラブルシューティング」を参照してください。

[表 6-2](#) に、Cisco IPICS で使用するサービス コマンドを示します。

**表 6-2 Cisco IPICS の CLI ベースのツール**

ツール名	説明
<code>service ciscosec {start   stop}</code>	このコマンドは、Cisco Security Agent (CSA) を起動および停止します。CSA の起動および停止方法の詳細については、 <a href="#">P.2-20</a> の「CSA の手順の実行」を参照してください。
<code>service ipics {start   stop   restart   status}</code>	このコマンドを使用すると、Cisco IPICS ポリシー エンジンと Tomcat サービスの起動、停止、再起動、およびステータスの確認を行うことができます。ポリシー エンジンの詳細については、『 <a href="#">Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)</a> 』の「Using the Cisco IPICS Policy Engine」の章を参照してください。
<code>service ipics_db {start   stop   restart   status}</code>	このコマンドを使用すると、データベース サーバの起動、停止、再起動、およびステータスの確認を行うことができます。データベース サーバの詳細については、『 <a href="#">Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)</a> 』の「Performing Cisco IPICS Database Backup and Restore Operations」の章にある「Understanding the Cisco IPICS Databases」の項を参照してください。

表 6-2 Cisco IPICS の CLI ベースのツール (続き)

ツール名	説明
<code>service ipics_lm {start   stop   restart   status}</code>	このコマンドを使用すると、ライセンス マネージャの起動、停止、再起動、およびステータスの確認を行うことができます。ライセンスおよびライセンス マネージャの詳細については、『 <a href="#">Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)</a> 』の「Performing Cisco IPICS System Administrator Tasks」の章にある「Managing Licenses」の項を参照してください。
<code>service ipics_tomcat {start   stop   restart   status}</code>	このコマンドを使用すると、Tomcat サービスの開始、停止、再起動、およびステータスの確認を行うことができます。Tomcat サービスは、Cisco IPICS の Web サーバであり、Administration Console へのアクセスを可能にします。Tomcat サービスの詳細については、 <a href="#">P.2-2</a> の「Tomcat サービスの手順の実行」を参照してください。
<code>service ippe_dial_engine {start   stop   status}</code>	このコマンドを使用すると、ダイヤルエンジンの起動、停止、およびステータスの確認を行うことができます。ダイヤルエンジンの詳細については、『 <a href="#">Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)</a> 』の「Configuring and Managing the Cisco IPICS Policy Engine」の章を参照してください。